

初回稼働向けユーザテスト仕様書

AP（自己デスク）編

Version 2025.08.01



Table of Contents

1. 全体概要	1
1.1. スケジュール	1
2. 実施環境	2
2.1. URL	2
2.2. オンライン時間	2
2.3. 推奨環境	2
2.4. ユーザID	2
2.5. テスト銘柄	2
2.6. 環境利用不可日	4
2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル	4
3. テスト環境におけるユーザテスト	5
3.1. 業務シナリオテスト	5
3.2. 連動テスト	6
3.3. 完了報告	7
4. 本番環境におけるユーザテスト	8
4.1. 業務シナリオテスト	8
4.2. 連動テスト	9
4.3. 完了報告	9
5. フォールバックプラン	10
6. お問い合わせ先	11

Chapter 1. 全体概要

- 本ドキュメントは、CredNex（新ETF設定交換プラットフォーム）の初回稼働時点における機能を対象としたユーザテストの概要を記載したドキュメントです。
 - 初回稼働時点の機能とは、2025年9月に本番稼働を予定している金銭型ETFのみを対象とした機能群を指します。
 - 現行ETF設定交換プラットフォームのユーザテストに関する情報は、JSCCから各ユーザ様に配布されている資料をご参照ください。
- 本資料は、2025年9月の初回稼働時点からCredNexに参画するAP向けに作成しています。
 - 本稼働時点以降に参画するAP向けのユーザテスト概要は、2026年2月頃に改めてご案内いたします。
- プロジェクト全体の概要については、ユーザポータルに掲載している「2025年2月説明会資料」をご参照ください。

[CredNex ユーザポータルサイト](#)

1.1. スケジュール

ユーザポータルサイトの「初回稼働向けユーザテスト」ページをご確認ください。

[CredNex ユーザポータルサイト](#) [初回稼働向けユーザテスト](#)

Chapter 2. 実施環境

2.1. URL

CredNex テスト環境

<https://stg.crednex.jp.co.jp>

CredNex 本番環境

<https://crednex.jp.co.jp>

※2025年8月に開放予定

2.2. オンライン時間

テスト可能なオンライン時間は以下のとおりです。

営業日 7:00～22:00

※テスト・本番環境で共通

2.3. 推奨環境

OS: Windows 11

ブラウザ: Google Chrome または Microsoft Edge

※テスト・本番環境で共通

2.4. ユーザID

AP権限ユーザのID・パスワードは申請書の内容に基づき別途配布します。

AP権限ユーザは、申込のみ可能なユーザ(申込者)と、承認のみが可能なユーザ(承認者)に区別されており、申請書の内容に基づき配布されます。

2.5. テスト銘柄

AMが提出した申請内容に基づき登録した「①実銘柄」と、APが独自にテストを行うための「②テスト銘柄」をご利用いただけます。

①実銘柄

本番運用開始後に実際に使用される銘柄を指します。AMの申請内容を基に、CredNex本番環境・テスト環境双方に銘柄を登録しています。

指定参加者として登録されたAPおよび銘柄を取り扱うTBのみが、申込登録や承認などの操作を行えます。

後述の連動テストは、本番運用を忠実に再現するため、必ず本銘柄をご利用ください。

②テスト銘柄

各社APが自由に申込登録が可能なテスト銘柄です。

テスト銘柄のAMおよびTBは、CredNex事務局が登録したダミーユーザになります。他組織のAPやAM・TBは、当該銘柄の申込に関する閲覧・操作ができません。ご自身の組織内で完結したテストを行いたい場合は、本銘柄をご利用ください。

テスト銘柄への申込登録後、CredNex事務局が自動的にかつ定期的にAM承認・拒否およびAM取消承認・取消拒否を操作することで、各社APのテスト実施を支援します。

なお、CredNex事務局による自動操作は、1分以内に処理されます。なお、申込日が当日に設定されている申込が自動処理の対象となります。申込日が翌営業日以降の場合、自動処理は行われませんのでご注意ください。

テスト銘柄は計4銘柄あります。それぞれの銘柄詳細については下記を参照ください。

銘柄コード AT010

申込は常に自動承認され、取消申請も常に承認される銘柄。

AMが申込を承認するテストケースに利用可能。

計算書確定日はT+0（T=申込日）であり、申込日当日の21:30以降に計算書が自動作成されるため、迅速に計算書を確認したい場合に利用可能。

なお、APテストユーザーがAM/TBに成り代わって計算書の作成から承認まで実施するのは困難なため、計算書を代理生成する運用機能を代替利用する。

金銭型ETFかつ債務引受有りの銘柄に対する申込は、計算書確定日の21:30にシステムによって計算書が自動生成される。これは、万が一AMおよびTBが計算書を確定できなかった場合でも清算するための運用機能であるが、この機能を代替して利用する。

また、計算書中の「NAV種別」項目が0（計算書確定日の時限までに「計算書確定済」ステータスに遷移せず、CredNexによって計算書が代理生成された場合のフラグ）が設定されることに留意すること。

実際のAMが登録した計算書を用いるテストを実施する場合には、連動テストの中で実施すること。

銘柄コード AT020

申込は常に自動承認され、取消申請も常に承認される銘柄。

AMが申込を承認するテストケース、またはAMが取消申請を承認するテストケースに利用可能。

計算書確定日はT+1（T=申込日）であり申込日の翌営業日 21:30以降に計算書が自動作成されるため、実際の債務負担利用時の決済日付の条件下で申込・計算書を確認したい場合に利用可能。

なお、APテストユーザーがAM/TBに成り代わって計算書の作成から承認まで実施するのは困難なため、計算書を代理生成する運用機能を代替利用する。

金銭型ETFかつ債務引受有りの銘柄に対する申込は、計算書確定日の21:30にシステムによって計算書が自動生成される。これは、万が一AMおよびTBが計算書を確定できなかった場合でも清算するための運用機能であるが、この機能を代替して利用する。

また、計算書中の「NAV種別」項目が0（計算書確定日の時限までに「計算書確定済」ステータスに遷移せず、CredNexによって計算書が代理生成された場合のフラグ）が設定されることに留意すること。

実際のAMが登録した計算書を用いるテストを実施する場合には、連動テストの中で実施すること。

銘柄コード AT030

申込は常にAM拒否される銘柄。

AMが申込を拒否するテストケースに利用可能。

銘柄コード AT040

申込は常に自動承認され、取消申請は常に拒否される銘柄。

AMが取消申請を拒否するテストケース、または債務引受無しの申込のテストケースに利用可能。

銘柄コード AT110

設定申込時、債務引受あり・なしのどちらも指定可能な銘柄。申込は常に自動承認される。

債務引受あり・なしの指定が可能な銘柄に対して、申込を行うテストに利用可能。

No.	銘柄コード	AM承認 (申込)	AM承認 (取消 申請)	債務引 受(設 定)	債務引 受(交 換)	計算書 確定日	決済日	指定参 加者	取扱AM	取扱TB
1	AT010	自動承認される	自動承認される	あり	あり	T+0	T+0	すべてのAP	CredNex事務局	CredNex事務局
2	AT020	自動承認される	自動承認される	あり	あり	T+1	T+2	すべてのAP	CredNex事務局	CredNex事務局

No.	銘柄コード	AM承認 (申込)	AM承認 (取消申請)	債務引 受(設定)	債務引 受(交換)	計算書 確定日	決済日	指定参 加者	取扱AM	取扱TB
3	AT030	自動拒 否され る	なし	あり	あり	T+1	T+2	すべて のAP	CredNe x事務局	CredNe x事務局
4	AT040	自動承 認され る	自動拒 否され る	なし	なし	T+0	T+0	すべて のAP	CredNe x事務局	CredNe x事務局
5	AT110	自動承 認され る	なし	あり ま たは な し	なし	債務負 担あり 場合 T+1 債務負 担なし の場合 T+0	債務負 担あり の場合 T+2 債務負 担なし の場合 T+0	すべて のAP	CredNe x事務局	CredNe x事務局

2.6. 環境利用不可日

CredNexはユーザテスト開始後も利便性向上のため開発を継続します。そのため、環境が利用できない日が発生する可能性があります。

利用不可日時は事前にアナウンスし、ユーザポータルサイトの「初回稼働向けユーザテスト」ページで公開します。

[CredNex ユーザポータルサイト 初回稼働向けユーザテスト](#)

2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル

CredNexユーザポータルサイトの「ファイル設計書 / サンプルファイル」をご参照ください。

[CredNex ユーザポータルサイト ファイル設計書・サンプルファイル](#)

Chapter 3. テスト環境におけるユーザテスト

テスト環境では、業務シナリオテストの実施を必須とします。連動テストの実施は任意です。

3.1. 業務シナリオテスト

CredNex上でAPが可能な操作は原則すべて実施し、その結果が想定どおりかを確認します。

APの設定交換業務における一連のフローを、以下の観点で確認します。

具体的な実施ケースは本資料の「テストケース」項目および別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

使用する銘柄は、本ドキュメント「テスト銘柄」欄に記載の「②テスト銘柄」をご利用ください。

なお、業務シナリオテストにおけるCredNex画面上操作の手順・方法につきましては、CredNexユーザーポータルサイトの「CredNex操作マニュアル」をご参照ください。

[CredNex ユーザーポータルサイト 操作マニュアル](#)

観点

GUIまたはAPIによる申込～承認フロー

GUI操作またはAPI呼び出しにより、申込登録から承認、取消承認までの一連のフローが問題なく実行できるかを確認します。

定常運用におけるAPの操作可能範囲をステータス遷移図上で青色で示しています。

各操作を行うことで、期待どおりに申込ステータスが遷移するかを確認します。

各種情報取得

GUI操作またはAPI呼び出しにより、申込情報、計算書、銘柄マスタ、申込受付不可日の各種ファイルがダウンロード可能であること、また必要に応じて使用しているシステム・ツール等で正常に取込が可能であることを確認します。

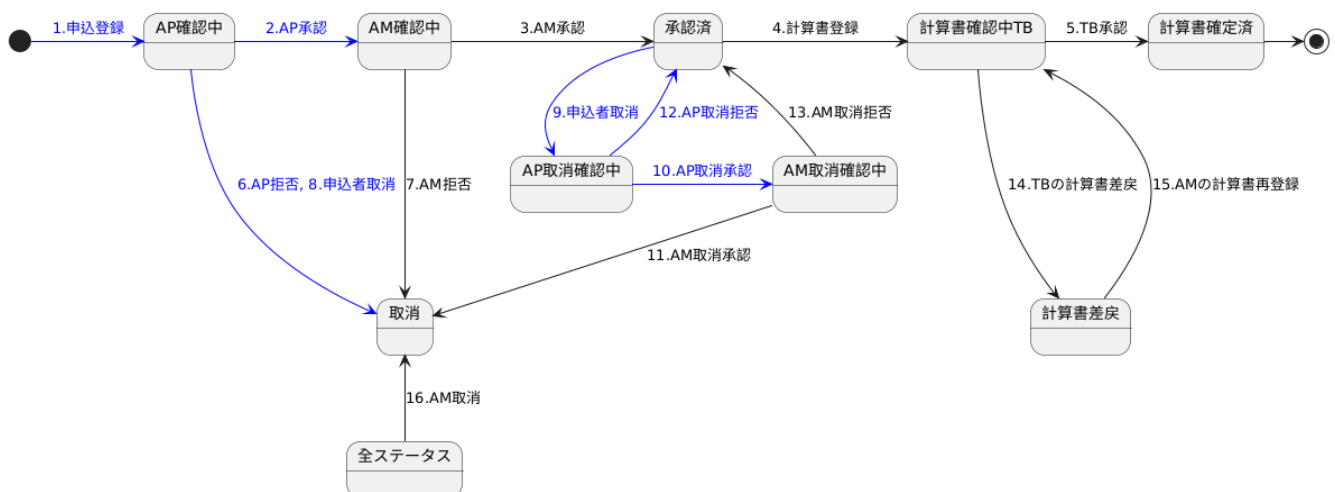


Figure 1. ステータス遷移図: APが操作可能な部分は青色で表示。

3.1.1. 環境条件

ユーザテスト期間中は、債務引受有りの申込であっても、債務引受データは現物清算システムに連携されません。

そのため、CredNex上で承認された債務引受情報は、現物清算システムで参照できませんのでご注意ください。

また、債務引受有りの申込に関する申込情報および計算書情報を取得した場合、CredNex事務局が独自に

登録したDVP清算値段が含まれた状態で出力されます。

ただし、ユーザテスト中に閲覧可能なDVP清算値段は実際の値とは異なります（別途案内がある場合を除きます）。

3.1.2. テストケース

CredNexでは、ユーザインターフェースとしてGUI画面とWebAPIを提供します。

GUIまたはWebAPIどちらかでの業務シナリオテストの実施を必須とします。

本番運用で使用するユーザインターフェースを選択の上、テストを実施ください。

No.	テストケース カテゴリ	必須/ 任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。
2	申込登録	必須	申込入力画面で申込情報を入力し、申込が登録できることを確認する。
3	申込情報の閲覧	必須	申込一覧画面、申込詳細画面で登録した申込の情報が正しく閲覧できることを確認する。
4	承認・拒否	必須	申込をAP承認またはAP拒否して、申込が適正に遷移したことを確認する。
5	取消申込の登録および取消承認・取消拒否	必須	取消申請を登録およびAP取消承認またはAP取消拒否して、申込が適正に遷移したこと及び通知メールが配信されることを確認する。
6	申込情報のダウンロード	必須	申込情報のファイル取得が可能なことを確認する。
7	計算書のダウンロード	必須	計算書のファイル取得が可能なことを確認する。
8	銘柄マスタの確認・ダウンロード	必須	銘柄マスタの画面閲覧およびファイル取得が可能なことを確認する。
9	申込受付不可日のダウンロード	必須	申込受付不可日のファイル取得が可能なことを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

3.2. 連動テスト

関係するAMやTBが申込に対して操作することで、本番業務運用フローを疑似的に検証する連動テストを実施可能です。

必要に応じて、銘柄の発行者となっている各AMと調整のうえ、実施内容・日時をご調整・ご判断ください。

また、顧客であるMMとの連動テストについても実施可能です。MMが申込登録を行い、APが承認・拒否するフローをご確認いただけます。MMとの連動テストについても、上記のAMとの連動テスト実施日に行うことを推奨します。

連動テストは任意実施であり、テストケースに東証からの必須条件はありません。ただし、使用銘柄は本ドキュメント「テスト銘柄」欄の「①実銘柄」をご利用ください。

3.3. 完了報告

テスト完了後は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。

テスト環境における完了報告書の提出期限は2025/8/1（金）です。

ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 4. 本番環境におけるユーザテスト

本番環境では、業務シナリオテストの一部ケースの実施を必須とします。

なお、業務シナリオテストのその他のケースおよび連動テストの実施は任意です。

本番環境において、申込を伴う業務シナリオテストを実施されたい場合は、払出し希望日の1週間前までを目安に事務局までご連絡ください。

4.1. 業務シナリオテスト

CredNex上でAPが可能な操作は原則すべて実施し、その結果が想定どおりかを確認します。

APの設定交換業務における一連のフローを、以下の観点で確認します。

具体的な実施ケースは本資料の「テストケース」項目および別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

4.1.1. 環境条件

テスト環境と同様です。

4.1.2. テストケース

No.	テストケース カテゴリ	必須/ 任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。
2	申込登録	任意	申込入力画面で申込情報を入力し、申込が登録できることを確認する。
3	申込情報の閲覧	任意	申込一覧画面、申込詳細画面で登録した申込の情報が正しく閲覧できることを確認する。
4	承認・拒否	任意	申込をAP承認またはAP拒否して、申込が適正に遷移したことを確認する。
5	取消申込の登録および取消承認・取消拒否	任意	取消申請を登録およびAP取消承認またはAP取消拒否して、申込が適正に遷移したこと及び通知メールが配信されることを確認する。
6	申込情報のダウンロード	任意	申込情報のファイル取得が可能なことを確認する。
7	計算書のダウンロード	任意	計算書のファイル取得が可能なことを確認する。
8	銘柄マスタの確認・ダウンロード	任意	銘柄マスタの画面閲覧およびファイル取得が可能なことを確認する。
9	申込受付不可日のダウンロード	任意	申込受付不可日のファイル取得が可能なことを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」をご参照ください。

4.2. 連動テスト

テスト環境と同様です。

4.3. 完了報告

テスト完了後は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AP(自己デスク)」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。
本番環境における完了報告書の提出期限は2025/8/29（金）です。
ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 5. フォールバックプラン

2025年9月に予定しているCredNexの初回稼働において、CredNexへのシステム移行ができない場合は、CredNexのみフォールバックし、現行ETF設定交換プラットフォームおよび現物清算システムは本番移行を継続する方針（フォールバックプラン）を想定しています。
フォールバックプラン発動時を想定したAP向け依頼事項は以下のとおりです。

- フォールバックプラン発動時は、CredNexに移行予定であった金銭型ETFの設定交換業務を現行ETF設定交換プラットフォームで継続していただきます。
- 東京証券取引所・JPX総研・JSCCが協議した結果、フォールバックプランの発動が必要と判断された場合は、ユーザ全員に周知の上、現行ETF設定交換プラットフォームで業務を継続するための作業を行います。
- AM各社は、フォールバックプラン発動時の現行ETF設定交換プラットフォームにおける債務負担制度の利用有無を選択することが可能です。
 - 債務負担制度を利用するAMに対しては、現行ETF設定交換プラットフォームで「債務負担有り」の申込登録が可能です。
 - 債務負担制度を利用しないAMに対しては、現行ETF設定交換プラットフォームでは「債務負担無し」の申込のみ登録が可能です。
- フォールバックプラン発動時のAM各社の方針については、AP・TB等関係者と事前に情報共有を行うようAMに要請しています。債務負担制度の利用有無等につきましては、CredNex 初回稼働時より移行を行うAM各社への事前の確認をお願いいたします。

なお、現行ETF設定交換プラットフォームまたは現物清算システムが移行不可となった場合は、「CredNex初回稼働」および「金銭型ETF債務引受対応」の両プロジェクトでフォールバック対応を行う方針です。

Chapter 6. お問い合わせ先

東京証券取引所 株式部 CredNex担当
JPX総研 ITビジネス部 CredNex担当

メール

ask-crednex@jpx.co.jp

※メール件名に「組織名」を記載いただきますと幸いです。

電話

03-3666-0141（代表）

※現行ETF設定交換プラットフォームや清算制度に関するご質問は、お手数ですが日本証券クリアリング機構（JSCC）へお問い合わせください。